

「グループを活かした授業」の全体図

「グループを活かした授業」とは、協同学習の理念に基づき、グループによる相互作用を学習の中心に据え、グループを児童生徒にとっての「学習の拠点」として位置付けた授業である。

協動的な学びを支える意識とスキル	<p style="text-align: center;">協同の意識</p> <p>「みんなで学ぶ みんなが伸びる」 違いを認め合い違いから学ぶ 分からない・できないに共感する 目指す授業像の共有</p>	<p style="text-align: center;">協同のスキル</p> <p>他者と関わり合うスキル 社会的スキル 肯定的・共感的な聴き方 学び合う学びのためのスキル 聴き合いを促進する：対話のスキル 意見を繋ぐ：繋ぐ発言，リレー説明他 理解深化を図る：説明・聴くスキル</p>																								
グループ学習	<p>枠組み 役割設定・付与に依らない運営 形式的ではなく、メンバーの状況や考えの多様に応じた話し合いの進め方 聴き合うことを中核にしたグループ学習</p> <p>3つのパターンのグループ学習 下のグループ学習の特性をふまえて指導過程に位置づける。3つを常に行うわけではない。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p>協同解決型グループ学習</p> <p>互いの考えを提供し、比較検討し、よりよく解決していくグループ学習 個人解決後に行う。</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">足場づくりのためのグループ学習</p> <p>主問題を解決するために役立つ基礎・基本となる知識・技能・考え方を理解するためのグループ学習 個人解決前に行う。</p> </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <p style="text-align: center;">グループトーク</p> <p>全体からグループに切り替えて短時間話し合わせて、メンバーの理解促進・共有を図る教授方略 必要に応じて行う。</p> </td> </tr> </table> <p>教師の役割・配慮事項 協同のツール（ホワイトボード等）をグループで活用させる。 「分からない・できない・誤答・つまずき」を大切にす。 話し合いを見守る・グループ内のメンバーを繋ぐ。</p>		<p>協同解決型グループ学習</p> <p>互いの考えを提供し、比較検討し、よりよく解決していくグループ学習 個人解決後に行う。</p>	<p style="text-align: center;">足場づくりのためのグループ学習</p> <p>主問題を解決するために役立つ基礎・基本となる知識・技能・考え方を理解するためのグループ学習 個人解決前に行う。</p>	<p style="text-align: center;">グループトーク</p> <p>全体からグループに切り替えて短時間話し合わせて、メンバーの理解促進・共有を図る教授方略 必要に応じて行う。</p>																					
<p>協同解決型グループ学習</p> <p>互いの考えを提供し、比較検討し、よりよく解決していくグループ学習 個人解決後に行う。</p>	<p style="text-align: center;">足場づくりのためのグループ学習</p> <p>主問題を解決するために役立つ基礎・基本となる知識・技能・考え方を理解するためのグループ学習 個人解決前に行う。</p>	<p style="text-align: center;">グループトーク</p> <p>全体からグループに切り替えて短時間話し合わせて、メンバーの理解促進・共有を図る教授方略 必要に応じて行う。</p>																								
全体交流	<p style="text-align: center;">意図的指名による方法</p> <p>対比法*：教師が意図的に正答と誤答、多様な考えを抽出し、それらに対比させて、根拠を比較検討・吟味する。</p> <p style="text-align: center;">一斉提示法*</p> <p>すべてのグループの学習成果を一斉提示し、類型化・焦点化して比較検討する。 注) 順番に発表するのではない。</p> <p>教師の役割・配慮事項 グループ学習の状況に応じて全体交流を進める。 グループ間の差や多様性を認め、グループの考えを繋ぐ、誤答やつまずきを活かす。</p>																									
指導過程 (算数・数学)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">指導過程</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td> </tr> <tr> <td>問題の理解 課題の理解</td><td>見通しをもつ 全体で共有</td><td>個人 解決</td><td>協同解決型 グループ学習</td><td>全体交流 グループ間交流</td><td>まとめ 適用問題 振り返り</td> </tr> <tr> <td colspan="3">グループトーク</td><td colspan="4">グループトーク</td> </tr> </table>						指導過程	1	2	3	4	5	6	問題の理解 課題の理解	見通しをもつ 全体で共有	個人 解決	協同解決型 グループ学習	全体交流 グループ間交流	まとめ 適用問題 振り返り	グループトーク			グループトーク			
指導過程	1	2	3	4	5	6																				
	問題の理解 課題の理解	見通しをもつ 全体で共有	個人 解決	協同解決型 グループ学習	全体交流 グループ間交流	まとめ 適用問題 振り返り																				
グループトーク			グループトーク																							
留意事項	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small;">指導過程</td> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td> </tr> <tr> <td>問題の理解 課題の理解</td><td>足場づくりのための グループ学習</td><td>全体で確認・共有</td><td>個人 解決</td><td>協同解決型 グループ学習 全体交流</td><td>まとめ 適用問題 振り返り</td> </tr> <tr> <td colspan="2">グループトーク</td><td colspan="2">グループトーク</td><td colspan="2">グループトーク</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注) 表のセルの大きさには時間配分を考慮していない。</p> <p>学習内容に応じたグループ学習の位置づけ 協同解決型：考えの多様性のある学習内容 足場づくり：問題1・例題と問題2を扱う学習構成 見通しをもたせる場面で活用</p>						指導過程	1	2	3	4	5	6	問題の理解 課題の理解	足場づくりのための グループ学習	全体で確認・共有	個人 解決	協同解決型 グループ学習 全体交流	まとめ 適用問題 振り返り	グループトーク		グループトーク		グループトーク		
指導過程	1	2	3	4	5	6																				
	問題の理解 課題の理解	足場づくりのための グループ学習	全体で確認・共有	個人 解決	協同解決型 グループ学習 全体交流	まとめ 適用問題 振り返り																				
グループトーク		グループトーク		グループトーク																						
その他	<p>グループ自己評価 個人目標・自己評価：グループへの貢献度も評価する。 グループ目標・自己評価：グループ内相互評価を行う。</p>																									

注) *は算数数学学習で有効な方法